

校務改善表彰の受賞、誠にありがとうございます。

本日、受賞された方々は、公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におきまして、校務の改善について、組織的・効率的な学校運営を実現するなど、先進的な取組を行い、功績をあげられました学校・団体及び個人の皆様方です。

まずは、皆様方のこれまでの取組に対しまして、敬意を表するとともに、心からお喜び申し上げます。

校務改善は、教職員がより組織的に校務を行い、効率的な学校運営体制を実現することで、更なる教育の充実を図っていくための不断の取組です。

別けても、学校内の仕事の前さばきをする分掌組織を設置すること、及び各教職員の役割分担を明確化することが、校務を改善する上で極めて重要な取組であることが分かってまいりました。

現在、公立小中学校、約2千校のうち、232校におきまして、経営支援部が設置されており、また、都立学校におきましても、平成24年度に、高等学校8校において、組織マネジメント向上事業調査モデル校としての取組が進められているところです。

このように、各学校では、校務改善に関する様々な取組を実施しておりますが、都教育委員会といたしましても、先進的な取組の情報を収集いたしまして、全公立学校に広く周知することにより、校務改善が一部の学校だけの取組ではなく、全都的な取組となるよう、支援をしていきたいと考えております。

そこで、東京都教育委員会ホームページに、校務改善の専用コーナーを新たに設けたところがございます。また、「校務改善ニュース」、これを小中学校全教員へメールで送付するなどにより、積極的に周知を図っているところです。今後、ツイッターなどでも、情報発信できればと思っています。

また、11月を、「校務改善推進月間」といたしました。「一校一改善運動」を実施していただくとともに、校長・副校長・事務職員など学校関係者約5百名が参加する「校務改善推進事業発表会」を開催させていただき、全都的な校務改善運動とすべく、働きかけているところです。

こうした取組により、教職員が組織的かつ効率的に仕事が進められるようになり、更なる教育の充実が図られることを期待しております。

今日も、すばらしい報告を、国立第五小学校の方々からいただきました。皆様の学校でも、それぞれの工夫で、新しいチャレンジが日々行われているところがございます。

最後に、今後とも、校務改善の推進の取組におきまして、皆様方の一層のお力添えをお願いいたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。

平成25年2月19日

東京都教育庁人事部長 岡崎 義隆